

卷末資料 3
使用様式集

巻末資料3 使用様式集

【計画1】	検討対象区間・治水目標等の確認	1
【計画2】	地域情報の確認と整理	2
【計画3】	自然共生川づくり検討会メンバー表	3
【計画4】	検討対象地先の一次案（たたき台）の設定	4
【WS-1-1】	現地踏査結果と着目ポイントの整理	5
【WS-1-2】	河川環境スケッチ	6
【WS-2-1】	目標設定準備シート	7
【WS-2-2】	目標優先度の決定	8
【WS-3】	目標設定シート	9
【WS-4】	目標設定平面図	10
【WS-5】	一次案に対する改善アイデア発想	11
【WS-6】	代表断面イメージ	12
【WS-7-1】	断面構成要素と部位の整理シート	13
【WS-7-2】	機能・性能と施工時配慮事項の抽出シート	14
	工事追加特記仕様書（使用できる工法・製品の内容）	15

【計画2】 地域情報の確認と整理

Date:

対象河川・事業名：

漁業権		住民・関係者からの要望・協議内容等
漁業権設定	有り / 無し	
該当する免許番号		
漁協名		
漁協連絡先		
実施されている漁と時期		歴史・文化的要素
住民活動・市民活動等		
活動名	活動内容・活動時期	
		都市計画・自然公園法等に基づく面指定
		指定者
		指定内容
		鳥獣保護法
		緑地環境保全地域
		自然環境保全地域
		自然公園
		風致地区
		都市計画法(用途地域)
		農地法(農用地・農振地域)
		文化財・天然記念物
		砂防法(砂防指定地等)
		森林法(保安林等)

[WS-1-1 現地踏査結果と着目ポイントの整理]
対象河川・事業名：

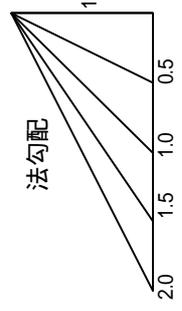
Date:

[WS-1-2 河川環境スケッチ]

対象河川・事業名 :

Date:

作成箇所	
作成者	
NO	/



- 1 検討対象区間内もしくは近傍で景観的に良好と考えられる区間について作成する。
- 2 河川横断面が事前に入手できれば、河川横断面を下図に使用しても良い。
- 3 参考として現地写真等を添付しても良い。

[WS-2-2 目標優先度の決定]																					
Date: _____																					
チーム: _____																					
No.	大項目	中項目	目標(案)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	得点	得点順位	優先度 ()
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
	治水	流下能力																			

治水目標 流下能力については、無条件で優先度とし、それ以外の項目について最優先とする目標(×1)、重要性の高い目標(×数個)を設定します。
 [目標の優先度の評価]: 強制決定法
 目標の重要度を一対比較によって相対評価します。
 「AとBのどちらがより重要と考えられるか」について、参加者が必ずいずれかに挙手し、その人数をポイントとする。

[WS-3 目標設定シート]

Date:
チーム:

対象河川・事業名 :

目標事項の整理結果を記入		川づくりの目標(個別目標、環境保全対象)		目標を達成するためのポイント・検討事項		目標優先度を記入	
大項目	中項目					優先度()	
治水	流下能力						
	その他						
自然環境	利水						
	陸域部						
	水際部						
	水域部						
特定動植物							
景観							
歴史・文化							
利用	水辺						
	水域						
その他							

上表を踏まえ検討対象区間の「自然共生川づくり」の目標を分かりやすい言葉で記入

川づくりの目標

--

検討対象区間の目標設定の結果を記入。

【WS-4 目標設定平面図】
対象河川・事業名：

Date：
子-△：

追加距離	
平面形状 (R=XXX)	
現況縦断	
横断構造物	
河種・現況 流下能力	
堤防・護岸 (右岸)	
堤防・護岸 (左岸)	
砂州・寄州 淵等の分布	
特殊部 保全対象	
用地	
背後地 (右岸)	
背後地 (左岸)	
ブロック 分割	

[WS-5 一次案に対する改善アイデア発想]

対象河川・事業名 :

Date:

作成箇所
チーム名

大判打ち出しして使用
手順 :川づくりの目標を確認し、各自付箋紙に一次案を改題するアイデアを言葉やボラチ絵で記入します。どの目標に効果があるかを併せて記入します。長時間で出来るだけ沢山出して下さい。
手順 :各自、アイデアに簡単な説明を加えながら付箋を貼っていきます。類似のアイデアをまとめるながら整理します。(KJ法)

[WS-6 代表断面イメージ]

対象河川・事業名：

コンセプト：

Date:

作成箇所	
チーム名	
提案者	

この案の特徴

--

一次案に対して改良された点

--

一次案に対するコスト評価

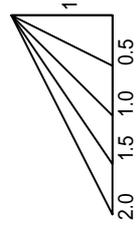
--

平面計画上のポイント・注意点

--

採用上の留意点・課題

--



川づくりの目標を意識しながら、一次案の改善アイデアを組み合わせ、具体化します。イラストやコメントを用いて、コンセプトが説明できるよう記入します。

[WS-7-1 断面構成要素と部位の整理シート]
 対象河川・事業名 :

Date:	
作成箇所	
チーム名	

--

構成要素
部位
整理結果

手順 : 採用する代替案について、その構成要素と河川空間内の部位 (陸域、水際、水域等) でそれぞれ区分します。
 手順 : 整理結果に基づいて、どの位置にどのような機能を求めるかについてアイデアを出していきます。

工事追加特記仕様書（使用できる工法・製品の内容）

1. 本工事が対象とする河川の「川づくりの目標」を(1)に示す。(1)の内容を甲(県)と相互に確認し、「川づくりの目標」を達成すべく努めること。また、対象河川の特性をよく理解し、自然共生の観点からより良い川づくりに努めること。
2. 本工事に使用する工法・製品は、以下(4)に示すものを使用できるものとする。
3. 対象とする構造物は、以下(2)に示すものとする。構造物毎に使用できる工法・製品と条件が異なることに注意すること。
4. また、護岸工法・製品の採用にあたり、(4)に明示されたもの以外を使用する場合は、発注者に関係資料を提出し、承諾を得るものとする。その際、提案する工法・製品が「(3)工法・製品に求められる機能・性能」に示す条件を満足することを承諾の条件とする。条件を一部満足しない場合でも、それを補う利点があれば提案すること。
5. 岐阜県自然共生工法認定工法を活用する場合、認定工法の登録カードに示された留意事項を良く理解し、現場特性に合わせて自然共生の効果を良く発揮するよう努めること。

(1) 本工事における「川づくりの目標」

(2) 本特記仕様書が条件を提示する構造物の一覧

構造物の種類	位置	記載頁

(3) 工法・製品に求められる機能・性能

対象とする構造物() 位置()

<p>治水上の機能・性能(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ <p>自然共生の機能・性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <p>その他の機能・性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--

(4) 使用可能な工法

工法名・製品名

工法名・製品名	規 格	自然共生工法認定番号

注) (4)に明示されたもの以外を使用する場合は、発注者に関係資料を提出し、承諾を得るものとする。その際、提案する工法・製品が(3)に示す条件を満足することを承諾の条件とする。条件を一部満足しない場合でも、それを補う利点があれば提案すること。